

代田区民センターだより

No. 58 2026年7月 代田区民センター運営協議会 電話 6407-8408

第29回

運営協議会総会開催

4月14日(火)に開催され、34名(委任状14名含む)の委員が出席、会議が成立しました。

梅垣会長、生垣地域振興課長の挨拶ののち、梅垣会長の議長のもと次の案件について諮問があり、全員一致で承認されました。

【審議事項】

(1) 2025年度事業報告

主な事業(①施設の使用に関する事業②コミュニティ形成を促進するための事業③その他の事業(会議等)に関して映像による報告がなされました。

(2) 2025年度決算監査報告

監査の結果、決算書のとおり相違ないことが報告されました。

(3) 2026年度事業計画

→主な事業計画

・コミュニティ事業

・センターまつり事業

・わくわく子ども教室事業

・代田区民センターだよりの発行

・児童館、図書館との連携事業

(4) 2026年度予算の変更

変更後予算3,010,630円

(5) 作品展示委員会組織名改称と役員・委員の退任・新任について

・「作品展示委員会」が活動実態に合わせ、「センターまつり委員会」に変更されることになりました。

・高村嘉代子副会長、岡野奈々委員、榎本洋子委員、平山恭子委員、宮崎雅史委員、村井瑞穂委員が退任され、江副元則委員、大竹信雄委員、幸路春人委員、原田和美委員、増田直子委員が就任されました。退任される皆様、長年にわたり当運営協議会の発展にご尽力頂き心より感謝申し上げます。新体制となる当協議会への変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

(6) 報告事項

・事務局体制について
新たに梶原誠悦氏が、事務局次長に就任いたしました。以上

☆代田区民センター運営協議会

・図書館・児童館 合同

ミュージカル「オズの魔法使い」

2月7日(土)

出演 エリイジャパン

代田区民センター運営協議会、代田図書館、代田児童館主催、ミュージカル「オズの魔法使い」を、世田谷区を中心に活動する劇団、「エリイジャパン」をお招きして開催しました。小雪の舞う中、乳幼児から大人まで幅広い年齢の方々がたくさん来られ、2回公演にも関わらず入場制限が出るほどの盛況ぶりでした。

公演時間は30分という短い時間で、楽しいダンスと力強い歌声で、完成されたミュージカルを見させて頂きました。それぞれの悩みを持った主人公たちが力を合わせ、勇気を持って前向きに進んで行く姿に、大人になつていつの間にか忘れていた純粋な気持ちを思い出し、励まされた思いでした。カラフルな舞台でのダンスや歌にお子さん達も楽しそうに見入っていました。最後に来場者全員でオズの魔法使いの主題歌「虹の彼方に」を歌いました。「30分という制限された時間ながら質の高いミュージカルで驚いた」「子供も大人も一緒に楽しめてとても楽しかったです。感動しました」「生の歌声が素晴らしい心地良かったです」。多人数の合唱も良かったです。等来場者の方々からたくさんの





感想をいただきました。楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございました。
(H・K)

コミュニティ教室

☆実技教室

クリスマスフラワーアレンジメント

12月21日(日)

講師 矢部 礼子

(マミフラワーデザインスクール登録講師)

12月21日(日)、1年最後の実技講座として「クリスマススのフラワーアレンジメント」を開催しました。

クリスマスには真っ赤なバラの花、お正月にはご自身でお花を変えて楽しめるアレンジメント。それぞれに植物や材料が配られ、クリスマス用とお正月用、2種類の飾りつけの見本が紹介され、これから作る作品へのイメージが膨らみます。

最初に赤と白の紙皿にワイヤーの



入ったリボンを巻いて器にし、花活け用のオアシスを入れて土台を作りました。リボンを少し右に寄せることでメインのお花を活けやすくします。いよいよ制作が始まり、まずはコニファーやヒムロスギなどの緑で形を整え、次に配られたバラの花や松ぼっくりなどの飾りで仕上げていきます。

見本として写真を撮ったりお隣同士で一緒に見たりと先生の作品が机を行き来し、作品の移動と共に会場も賑やかになりました。矢部先生と助手を務める宮本さんが各机を回っ

てアドバイスをくださり、皆さんご自分の作品を組み立てていきます。華やかに張り出していたり、すっきりとまとめていたり、同じ素材を使っているも植物の挿し方でつくる方の個性が表れていて、フラワーアレンジメントの面白さを感じました。お正月は何のお花にしようか?と話しながら、皆様の作品がどのように変化するのかと考えるのも心弾むひとときでした。年末に向けて慌ただしく感じがちな12月に、植物に直接触れて作っていく心地よさ、華やかな作品をどこに飾ろうと考える楽しさを感じる時間を皆さまと過ごせたことに感謝いたします。



(K・A)

☆歴史教室

「多摩川浅間神社の富士塚と古墳群」

2月20日(金) 27日(金)

講師 藤島 幸彦

(早稲田大学講師)

何度か訪ねたこともある多摩川浅間神社であったが、富士山の眺めに気を取られ、富士塚を意識することがなかった。他の富士塚では、しっかり意識し、できれば登るのだが。



散策当日の天気は非常によく、遠くまで綺麗に見渡せ、絶好の富士見日和。だが、今回は藤島先生の「富士講」「浅間神社」講座後なので、私の関心はもっぱら、富士塚と4社にしかないという浅間神社の「浅間造」。正面からはよく見えなかったが、

裏側ではあるが古墳散策コースからよく見えた。機会があればその二階から富士山を眺めてみたい。



一昨年、実際に富士山に登ったが、現代の装備でも一苦労、江戸時代の人々も富士講に参加する楽しみだけでなく、登山にあたってはかなり苦労したことだろうと思う。天気の良い日に、塚に登り、多摩川越しに富士山を眺める、これはこれで良いものだと感じた。ビルが立ち並ぶ現在は、実際に富士山が眺められる富士塚もほとんどないそうで、その点でもここは貴重な場所である。いつまでもこの眺望が残ってほしいと願う。続いて、亀甲山古墳から多摩川台古墳群を散策。古墳は多摩川台公園か

ら崖線に沿って野毛、さらに狛江調布へと続いている。その時代に、海から多摩川に入ってきた人たちが眺めたであろう、大小の古墳が並んでいる様を想像してみる。何を思い古墳を並べたか。延々と続く古墳群を見た人たちは何を感じたのか。太古の多摩川に思いを馳せながら、桜見がてら河川敷を散策してみよう。

(N・T様より寄稿)

☆春の植物教室

「春のつくば 植物探訪」

5月19日(火)・20日(水)

講師 せたがや自然環境保全の会

5月20日より2日間、植物教室に参加することができました。

1日目は、植物の特性と筑波実験植物園の見どころについての講義をしていただきました。身近な植物の特性が、私たちへの影響だけでなく、



クレマチス

植物自身の繋栄や防御などの大切な組み合わせることを学びました。また、植物園へ

赴いて下見いただいたご説明を伺い、この時期にどのような植物を実際に見られるのかイメージがふくらみ、観察会への期待が高まりました。



2日目は朝からバスで筑波実験植物園へ訪れました。お天気も良く気温も上昇、広い園内には期待も想像も超えて珍しい美しい珍しい植物があふれていました。屋外では、さまざまな色や形の花が並ぶクレマチス園が印象的で、同じ仲間でも多様な表情を持つことを実感させてくれました。さらに温室では熱望していたヒスイカズラを間近で見ることができ、翡翠色の花が長く連なって垂れ下がる姿は、写真で見えていたよりはるかに鮮やかで思わず見入ってしまった。

ました。講義で学んだ植物の特性と、実際に目にした不思議な色や形が結びつき植物の世界の奥深さを改めて実感する2日間となりました。運営協議会の皆さま、講師の先生方には安全で楽しい観察会のために、ご尽力いただきとても感謝いたしております。本当にありがとうございました。植物を通して、ご参加の皆さまとも交流でき今後の観察会にも是非参加できればと思っています。

(K・T様より寄稿)

わくわく科学あそび

6月14日(日) 午前の部・午後の部
6月21日(日) 午前の部・午後の部

講師 坂口 美佳子

(科学読物研究会)

【内容】

まわして発見！「コマのひみつ」

～富士山ごまと

カプセルブンブンをつくらう～

今年も小学生に大人気の、楽しく触れ合うことで科学への関心を育むイベント「わくわく科学あそび」が開催され、2日間でのべ47組の保護者と子どもたちが参加しました。

すっかりおなじみになった講師の坂口美佳子先生から、まずはジャイロ

効果や慣性の法則といったコマの仕組みの説明を伺い、続いて、伝統的なコマ、サイコロ形、逆立ちコマ、面白い形の花コマやベアコマ、駄々っ子のコマなど、見たことのないような多彩なコマが回る様子も先生が実演。その多彩さ、面白い動きに歓声や驚きの声が上がりました。

重心の考え方も教わり、コマの動きの仕組みがわかったところで、4種類のコマを実際に作ってみます。1つめは不思議な形に色分けされたほぼ球体状の底面に重しとつまようじで作る富士山コマ。横から見ると、富士山が浮かび上がり「きれいに回った!」と喜びの声があちこちで聞か



れました。2つめは合体させたフィルムケースに色紙とシールで作る地球コマ。細長い筒状の完成形を勢いよく回転させると中央に地球、周囲に月が浮かび上がる様子に喝采も。3つめはCDとビー玉、幾何学模様の紙を貼って作るベンハムのコマ。回る様子を見つめてから手のひらを見ると不思議な錯覚が起こり、「お母さんもなつた!」など親子の会話も弾んでいました。最後は丸い厚紙を張り合わせ紐を通し、ドーム型カップを乗せて土星のように形作ったぶんぶんコマ。ドームや紙に模様を描いたり、紐を左右に引っ張って回転する動きに立ち上がって夢中に

なっている参加者も。「いろいろなコマが4つも作れて楽しかった」「子どもがどんどん夢中になっていくので親も面白かった」「またこういう企画に参加したい」と、みな思い思いの感想を胸に笑顔で教室を後にされていました。

原田和美 記



今後の予定

【コミュニティ講座】

文学教室 (7月22日)

実技講座「折り紙」(8月23日)

美術教室 (9月24日・25日)

秋の植物教室 (10月7日・9日)

実技講座「木目込み人形」(11月)

実技講座「御殿まり」(12月)

歴史教室 (2月)

【センターまつり】

作品展示会・舞台芸術発表会

(10月17日・18日)

【わくわく子ども事業】

お年寄りに学ぶつどい (10月18日)

児童館・図書館とのコラボ企画

(2月予定)

*実施時期や講座内容は変更になる場合があります。

*実施内容・参加者募集等は「区のお知らせ (25日号)」にてお知らせします。

【事務局より】

4月1日付で梶原誠悦次長が就任いたしました。



梶原事務局次長

【訃報】

相談役の恩田照安様が6月1日逝去されました。長年にわたり当組織の発展にご尽力賜りました事を心から感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

【編集後記】

梅雨らしい雨空が続く一方、欧米では深刻な熱波が広がり多くの人が厳しい状況に置かれています。そのような中、世界ではサッカーワールドカップの応援合戦が熱気を帯び、日本は惜しくも敗退しましたがその情熱は大きな力を与えてくれます。このエネルギーを続く悪天候に向けて負けずに前向きに過ごしていきたいものです。

H・K

